

おおがわらまち 議会だより

第143号

平成29年5月1日



桜保育所 入所式

- 平成29年度予算概要……………②③
- 予算質疑・討論……………④⑤
- 町政への提言……………⑥
- 議案審議(1月・3月会議)……………⑬
- 議決責任の明確化……………⑱
- 常任委員会所管事務調査……………⑲

予算規模は前年度比

7.7%減の139億6,825万円

一般会計 前年度比 0.9%増の

78億8,224万円



▲満開の桜

重点施策

町長施政方針

- 胃がん検診受診者全員の無料化
- ファミリーサポートセンター開設
- 「絵本と学びのへや」設置事業
- 民間保育所建設支援事業
(金ヶ瀬カトリック保育園)
- 白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業
- 中央公民館施設等改修工事
- 稗田前集会所整備事業

9会計予算額

会計名	予算額	前年度比較
一般会計	78億 8,224万円	0.9%
後期高齢者医療特別会計	2億5,094万円	0.3%
国民健康保険特別会計	25億6,712万円	△0.8%
介護保険特別会計	12億9,623万円	△13.0%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	3,399万円	△7.9%
地方卸売市場事業特別会計	387万円	△4.7%
工業用地造成事業特別会計	2億5,500万円	2.7%
公共下水道事業特別会計	8億1,241万円	△40.6%
水道事業会計	8億6,645万円	△35.5%
合計	139億6,825万円	△7.7%

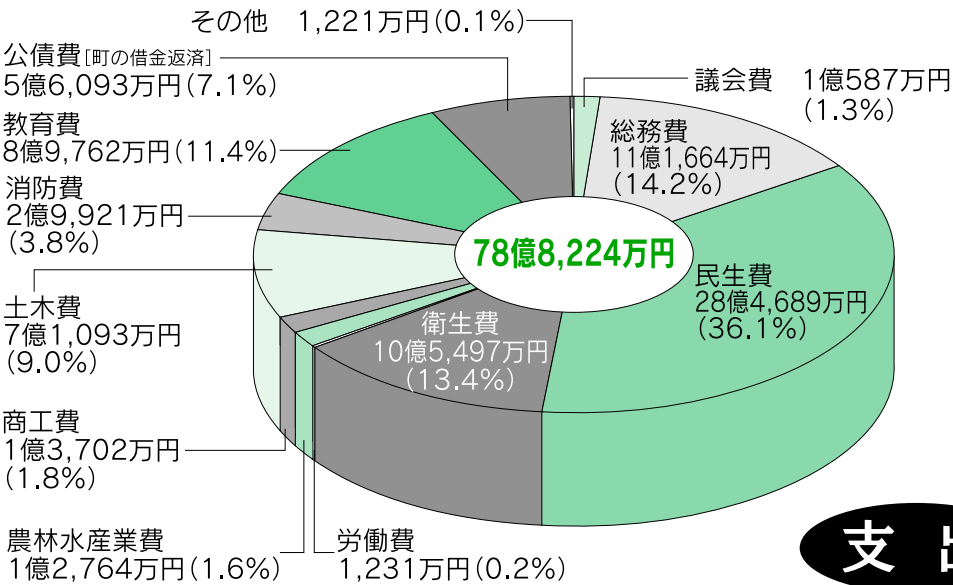
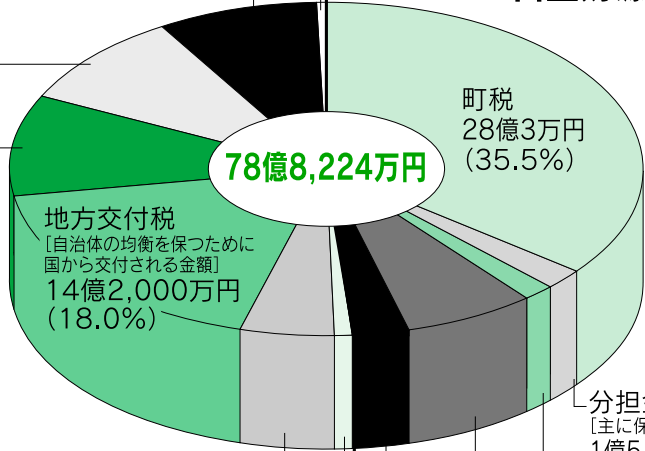
一般会計

依存財源 51.4%

その他 3,900万円(0.6%)
借入金(町債) 6億4,560万円(8.2%)
県支出金 7億1,658万円(9.1%)
国庫支出金 7億7,738万円(9.8%)
地方消費税交付金 3億8,000万円(4.8%)
地方譲与税 [自動車重量税、ガソリン税収入他] 7,100万円(0.9%)
その他[繰越金、財産収入、諸収入他] 2億2,573万円(2.8%)

収入

自主財源 48.6%



支出

子育てと福祉のために
一人あたり33万円使われます。

予算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り可決

問 道路区画線やクロスマーク等表示工事を重点的に行うとのことだが、工事の計画・選定の状況は。
答 今年度の予定は区画線として6698メートル、「止まれ」「十字路交差」等の表示が131カ所を予定している。今年度だけでは難しいので、今後3カ年程度かけて充実していく。



▲交通安全確保のために充実を(通行により薄くなったマーク)

問 町税等収納窓口業務委託料232万3000円とあるが委託先は。
答 仙台にあるアール・オー・エス東北(株)。2月末で一般会計・水道会計合わせて、1万8845件の利用実績があり、職員の業務量の軽減に役立っている。

問 結婚支援事業で魅力アップセミナーを開催するとの説明があつたが、その内容は。
答 身だしなみやマナーなど相手に好印象を与えるための内容を予定している。

問 手話奉仕員等養成研修の養成人数の設定は。また、近隣市町との共同開催の方向性は。
答 入門課程と基礎課程の2つの研修を実施しているが、特に町では数の

問 胃がん検診無料化による受診率アップの想定は。また、県内の他市町村の実施状況は。
答 平成28年度は約17.7%、無料化後は約26.27%になることを想定している。県内で既に実施している自治体は七ヶ宿町と登米市。他にも条件付きで実施している自治体がある。

設定は行っていない。共同開催については、2市7町で協議しながら行っていきたい。

問 地域密着型介護施設の平成29年度開設見通しは。
答 仙台市の社会福祉法人と協議しているが、土地の関係や介護職員確保の問題等もあり、なかなか前に進んでいない。平成29年度も建設に向けて引き続き努力していく。

問 側溝土砂収集委託料400万円は、年2回の一斉清掃時の側溝土砂分が。放射性物質が含まれるため(問題ない値)処分料がかかるがその単価は。また、これまでの費用を東京電力に請求しているのか。
答 春1回の分である。処分単価は1トン当たり4万5000円である。東京電力には前回の分は平成26年12月に請求している。



▲委託業者による土砂回収作業

問 桜樹保護委託料542万1000円の内訳は。
答 テンクス病剪定作業に146万1000円、アメリカシロヒトリ防除薬剤散布(2回分)に216万円、桜樹肥料施肥委託代に15万円、枯枝・折枝処理に100万円、桜樹のツル払いで65万円となっている。

問 西幹線(広域農道)と金改16号線(西地区農道)沿いの法面や農地にビンや缶等のゴミが投棄されている。農家の方が畔等の草刈りをするときに刃がゴミに当たったりはねて大変危険である。そういったゴミを収集する予算は計上されているか。その対策はどうか。
答 これといって計上はしていない。農事法人の方々から草刈やゴミの収集をしていただいている。

問 大河原町農作物有害鳥獣対策協議会負担金の額が昨年度より増となっているが、具体的な内容は。
答 大河原町農作物有害鳥獣対策協議会負担金の額が昨年度より増となっているが、具体的な内容は、

答 イノシシの捕獲頭数増(120頭分)、わな免許取得者への助成(1人1万円)、電気柵の助成(1人で実施する場合も含む)などである。



▲イノシシに荒らされた畑

答 大河原小学校体育館の男・女各トイレ1カ所の洋式化、トイレブース間仕切りの取り換え工事である。

問 総合体育館柔道畳購入費(109万1000円・畳35枚分)は、古いものとの入れ替えか、それとも新たに買い足すのか。また、畳の処分はどうするのか。
答 3年前に70枚購入し、今回は残りの部分を購入する。畳の処分については、体育館に一時保管し、様子をみて処分する。

問 今回の購入により残ったもので程度のよいものは、大中などに融通してはどうか。
答 これから問い合わせをして協議したい。

問 オーガ施設賃借料(絵本と学びのへや)362万7000円の坪数と単価はどれくらいか。また、契約年数は何年か。
答 現在相手方との協議中である。坪数は60坪で

一般会計

〔反対討論〕

万波 孝子
(1)町長は、上谷住民等が反対や不安の声を上げているのに、この声に背をむけて、放射能汚染廃棄物と一般廃棄物を混焼する知事の方針を優先させたことは問題である。国や県のいいなりの町政運営にならないか懸念される。

〔賛成討論〕

大沼 忠弘
新規事業として稗田前集会所整備・ファミリースポートセンター整備・「絵本と学びのへや」設置等。拡充事業として中央公民館施設改修等の各分野への適宜な予算配分は社会情勢、本町の实情に則しながらの予算計上は評価すべき。齋町長が復帰して最初の予算編成にあたる平成29年度予算、限られた財源の中で各事業の優先順位を考慮しつつ、町民との約束である公約を果たすべく、予算にも反映されたものと判断をする。

総括質疑

万波 孝子

問 安倍政権の経済政策で労働者の賃金は4年連続マイナス、非正規労働者の増、医療・介護の負担増、年金削減、消費税増等で町民生活は一層苦しくなっている。子どもの貧困も深刻。こうした実態を直視して町長や職員は町政運営に当たっていくべきでないか。
答 職員との共通する理解や認識が必要と考える。



▲「絵本と学びのへや」整備予定地の駅前オーガ

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回9人の議員が行った。

高橋 芳男 P⑦

- 無電柱化を加速せよ
- 母子手帳の電子化普及を
- 子育て支援切れ目なく

万波 孝子 P⑧

- 保育所・児童クラブの待機児童の解消を
- 学校給食費に補助金を
- 就学援助金の入学準備金は入学前に支給を

庄司 充 P⑨

- 県道白石柴田線の改善を重ねて望む

堀江 一男 P⑩

- 保育士不足の対応は
- 金ヶ瀬地区への児童館建設の進捗状況は

須藤 慎 P⑪

- 大河原公園の大規模改修を

大沼 忠弘 P⑫

- 指定対象文化財の数は
- オストメイト対応型トイレ設置促進、装具の備えは
- これまでの質問事項の追跡

岡崎 隆 P⑬

- 防災・減災の取り組みを急げ

佐藤 巖 P⑭

- 鷺沼地区、大河原衛生センターの周辺整備を
- 白石川河川敷活用スポーツ施設にパークゴルフ場を

佐久間克明 P⑮

- 町職員の定数削減が進む中でも体制強化を



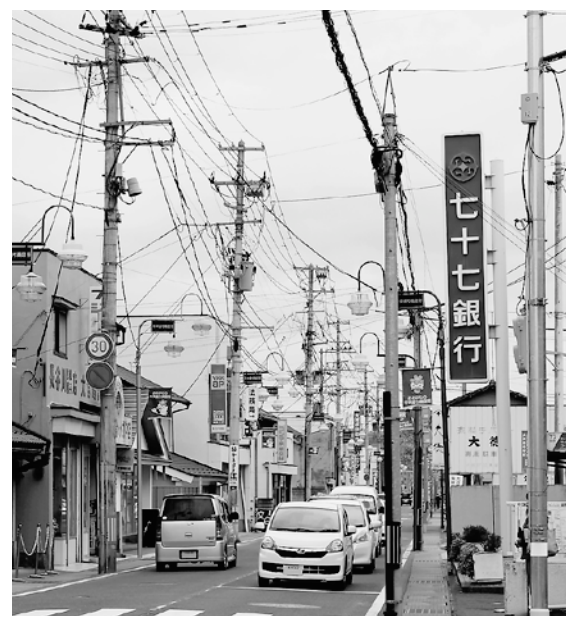
問 無電柱化を加速せよ

答 県の動向を注視する



たかはし よしお
高橋 芳男

問 平成28年12月2日に、「無電柱化推進法」が成立した。東日本大震災では5万6000本以上が倒壊し、被災者や緊急車両の通行を妨げた。無電柱化が防災上、大きな意義を持つことは明白。



▲防災・安全の視点で無電柱化の実施を

町長 本町における無電柱化については、コストや技術開発、関係事業者との連携協力の問題などがあり、今後の県の動向を注視しながら考えていく。

子育て支援切れ目なく

問 厚生労働省は2017年度から、産後うつ予防や新生児聴覚検査などを盛り込んだ「産後ケア事業」を実施する。産後ケアは、助産師ら専門家による母体・乳児のケアや育児相談・指導などが受けられるサービス、新生児聴覚検査と併せて当町も取り組むべきと考えるがどうか。

町長 産後のケアについては、1カ月健診時に併せた産婦健診や「新生児訪問事業」により継続支援を行っており、新生児聴覚検査は今後の事業展開を考慮し情報の収集に努めている。

母子手帳の電子化普及を

問 「電子母子手帳」は、PCやスマートフォンなどいつでもどこでも妊産婦と子どものデータを閲覧できるものである。「電子母子手帳」は、父親や祖父母とのコミュニケーションにも役立ち、母親たちの身近で力強い味方になる。当町でも取り組むべきだと思うがどうか。

町長 「電子母子手帳」は、統一された方式が採用されておらず、個人情報の漏洩や、診療用電子機器との連携などの問題点も指摘されることから、標準化委員会や国の動向について注視していきたいと考えている。

一般質問



しょうじ 庄司 充

問 県道白石柴田線の改善を重ねて望む

答 県に重ねて要望する

問 平成21年、平成25年、平成27年に三代町長にわたり訴え続けてきた「県道白石柴田線」いわゆる上大谷道路の拡幅は一向に進展しないまま何十年も放置されてきた。行き交う自動車や自転車は難儀しており通学児童は恐怖さえ感じている。町長はどのようにみているのか。

町長 この道路は宮城県が道路管理者である。路線は狭く危険が多いことは十分認識しており、これまでも改善要望を行ってきた。県としても予算の関係や優先順位もあり改善に至っていない。



一般質問

町長 道路改良は県の予算で相当な事業費がかかるため短期間で実施できるものではない。

問 たとえ問題が県のものであっても大河原町に關するものであれば、県の国のと言っている場合ではない。しかも十年単位の期間がかかっている。やっとスタートラインに立ったばかりのこの課題こそ現町長に急いでいた



▲町・議会・地域住民が協力して改善の推進を

問 保育所・児童クラブの待機児童の解消を

答 保育士確保が大変厳しい

問 認可保育所と児童クラブの待機児童の状況は。

町長 保育施設では71人。児童クラブでは12人。

問 今後の対応策は。保育士養成校では「奨学金を借り入れしているため初任給の高いところを紹介せざるを得ない」とい

子育てしながら、安心して働くことができるための受け皿である保育所や児童クラブを申し込んでも利用できない深刻な状況がある。施設の整備と保育士や指導員の確保は欠かせない。



まん なみ たか こ 万波 孝子



一般質問

う。保育士確保のために町として補助制度を設け待遇改善を図る考えはないか。

町長 保育士の確保が大変厳しい。確保できれば入所児童を増やす事ができる。町独自の支援は国の加算状況を見ながら検討していきたい。



▲すべての児童が入所できる体制づくりを

問 児童クラブの開館時間の延長は。

町長 指導員の確保が難しい。

学校給食費に補助金を

問 憲法26条では「義務教育はこれを無償とする」としている。学校給食は無料であるべきでないか。

問 給食費を半額、第2子第3子から無料にする自治体が増えている。一歩先行く町として無償化に向けて検討できないか。

町長 義務教育無償の範囲は「授業料の無償」との判例があり、給食の食料代としての給食費は引き続き負担していただきたい。

町長 年間約1億1000万円の給食費の一部、全額補助をするには相当の税金投入となり現状では難しい。

就学援助金の入学準備金は入学前に支給を

問 小・中学校の児童・生徒のいる家庭に支給されている就学援助費の入学準備金は入学後の支給ではなく前倒ししている。中

町長 実施自治体のやり方を勉強し、どうやらできるのか考えてみたい。

だきたい。

町長 この問題は今回議員の同意を得て今年1月に宮城県大河原土木事務所長に要望をいたしており、さらに今後は、町議会・県議会・地域住民等より多くの皆様のご協力を得ながら継続的に要望に努めていく。



堀江 一男

問 保育士不足の対応は

答 我が町だけでの対応は難しい

問 保育士不足で受け入れ困難な保育園はあるのか。

町長 第一光の子保育園は、現在定員までは11人入所できない状況で、3名程度の保育士が必要である。

問 保育士の公立と民間との給与の格差があるが、県内で市町村独自で補助金をだしているところもあるが把握しているか。

町長 給与の格差は、年収で5年勤務で30万～50万、20年勤務で120万～170万円程度となっているようだ。また、市

町村独自の助成については、白石市で1施設あたり年間50万円、情報では大崎市や亘理町で児童数に応じて助成しているようだ。

問 看護師、保育士、介護士等の人材確保のため町独自の奨学金制度を考えられないか。



▲保育士不足へ我が町独自の対策を

町長 財源面、運用面、債権の管理など課題が多く、実現は難しい。

問 町長は「一歩先行く元気なまち」を公約に掲げている。例えば卒業後5年間町内の施設に働い

金ヶ瀬地区への児童館建設の進捗状況は

問 金ヶ瀬地区への児童館建設について以前から提言してきたが、今回、金ヶ瀬カトリック保育園に放課後児童クラブを建設するようであるが、なぜ町として建設しないのか。

町長 児童クラブ室は保育園舎と一体的に建設していただき、児童クラブ室の建設費は町で補助金として園に助成することと合意している。

問 保育園舎建設について光の子児童福祉会への

場合奨学金の返済免除の制度は考えられないか。

町長 我が町だけでの対応は難しい。地域全体の問題として考えるべきである。

町としての対応と格差が生じないようにすべきと考えるが。

町長 町の助成としては、これまでの保育所建設と同等の支援と考えている。

問 金ヶ瀬カトリック前の道路が狭いが安全確保のため歩道の整備など拡幅の計画はないか。

子ども家庭課長 現状を見ながら、検討する考えはある。

問 保育士の処遇を町独自で改善し保育士の確保に努めるべきと考えるがどうか。

町長 短期的にみた場合と少し先を見た場合で若干異なってくると考える。こういった対応が可能なのか、どのくらい先を目標にスタートさせていくことができるのか考えたい。

問 河北新報に大学病院で保育所を建設するとの報道があった。そこには職員以外の子どもも入所可能とあったが、中核病院の院内保育所もそのようにすべきと考えるがどうか。

子ども家庭課長 現状では一般のお子さんの受け入れは難しい。

町長 1市3町での全体協議が必要。今後考えさせていただく時間をいただきました。

問 大河原公園の大規模改修を

答 計画的に進めていきたい

問 屋外スポーツの拠点とするために大河原公園多目的広場の山を取り払い全てフラットにして様々なスポーツが出来るように改修すべきと考えるがどうか。

町長 意匠権の問題やいろいろな課題が出てくる。白石川右岸河川敷や周辺施設との一体的な土地利用が不可欠。公園内の老朽化等も見られることから現在実施している業務の検討結果並びに利用状況や皆様方の要望等も集約しながら計画的に改修を進めていきたい。

問 学校給食センター建設に向けて今後の方向性は。

問 柴田町と共同で行うべきと考えるが検討はしなかったのか。

町長 事前に柴田町と一緒にできないかという話もあったが、様々な財政需要があり、残念ながら大河原の考える進行状況に合致することはできないということと柴田町との共同事業は断念せざるを得ないと考えている。

問 町長は上川原区行政懇談会において、中央公民館の改修、エレベーターを設置する等の発言があったが、今後大規模改修を行うということか。



▲改修が望まれる大河原公園多目的広場

町長 中央公民館と生涯学習課を事務所統合し、より利用しやすい施設を目指すためリニューアル案を庁舎内で選択した。平成29年度に中央公民館事務室と第1会議室を改造し新事務所に、またロビーと団体室を合わせ新たに2つの会議室を整備する先行実施事業を予定している。今後財政状況を勘案しながらエレベーター設置を含む全面リニューアルを目指す計画となっている。

一般質問

一般質問



おか ざき
岡崎
たかし
隆

問 防災・減災の取り組みを急げ

答 検討課題とする

問 全国的に災害時に地域のかなめとなつて行動する「防災士」を各行政区に配置する自治体の取り組みが始まっている。角田市でも93行政区に156名の防災士を昨年度

町長 災害対応では大雨による水害だけでなく地震災害でも被害を最小限に留める減災対策と避難時における要配慮者への対策等について取り組むことである。

問 町長の公約には災害に強いまちづくりとあるが具体的な中身を示してほしい。

までに養成している。養成費用は一人数万円かかるが市がすべてを補助して取り組んでいる。わが町も近年の異常気象を考えればこのような取り組みが必要ではないのか。

町長 検討課題とする。現在宮城県と連携しながら宮城県防災指導員養成講習会を開催し、各地域の自主防災組織のリーダーの育成に努めているところである。

問 町内の一部、広表新南、新東地区のバイパスを越えた地域では大雨による災害時に垂直避難のできない住民が出ることで容易に予想される。近隣の商業施設、ホテル、店舗等と連携を強化し命を守る取り組みを急ぐべき



一般質問

問 昨年の台風10号は気

きと考えるがどうか。総務課長 行政だけではなく、周りのいろいろな関係機関にも協力いただかないと減災につながらないと考えている。できる限りのことを検討していきたい。



▲防災・減災対策は待ったなし(平成28年8月台風10号接近時)

象庁が観測開始して初めて東北地方の太平洋側に上陸した。わが町も今後台風直撃があるという認識に立つて町独自の避難対策が必要と考えるがどうか。

町長 難しい課題だが検討していく。



おお ぬま
大沼
ただ ひろ
忠弘

問 指定対象文化財の数は

答 有形指定文化財3件、無形指定文化財2件※

※有形文化財：国指定重要文化財（大高山神社「鰐口」）／町指定重要文化財（繁昌院「阿弥陀如来坐像」、香林寺「金ヶ瀬薬師堂板碑群」）
無形文化財：「堤神楽」「小

問 有形文化財の保護状況、修繕等の必要性、無



▲国指定重要文化財の大高山神社「鰐口」

教育長 正式には後日回答がくるが、国指定文化財として中央公民館隣の「佐藤屋住宅」が内定している状況。

問 指定外の保護に値する対象はあるか。

形文化財の後継問題は。教育長 有形文化財はそれぞれ所有者が良好に保存。無形文化財は保存会員の高齢化、後継者減少問題がある。保存会の考え方を尊重しながら対策が必要。



一般質問

※ オストメイト対応型トイレ設置促進、装具の備えは

※オストメイトとは病気や事故の為、人工肛門や人工膀胱といったストーマと呼ばれる装具を利用されておられる方のこと。

問 オストメイト対応型トイレの設置状況は。

町長 6か所の公園トイレに設置されている。

問 中央公民館にも設置が必要と考えるがどうか。

問 白石川の雑木、堆積土の撤去は。

町長 県へ継続的に要望を行い、平成28年度はさくら大橋から大河原橋までの右岸河川敷の雑木伐採に着手、来年度以降も継続して実施の回答を得ている。中洲の整地も理解を得て今後実施される。

問 常設Wi-Fiの設置の考えは。

これまでの質問事項の追跡

町長 駅前広場に設置をした。平成29年度交付金事業で桜まつり会場と葦神堰に設置を要望中。

問 桜まつり期間中、お休み処として集会所を解放してはどうか。

町長 管理上の問題で現在の人員体制では難しい。来年度の交付金事業等にあらわせて検討したい。

生涯学習課長 設置を考える。

問 災害時のストーマ装具備蓄体制は。

町長 現在は災害時の担当病院体制が構築されている。災害発生時には県のストーマケア災害対策委員会から供給される体制が整っている。



さとう いわお
佐藤 巖



一般質問

画しているのか。また、解体計画はあるのか。

町長 現在、「さぎ沼荘」を解体する予定はなく、町の倉庫として、今後も活用していく予定である。管理については、衛生センター敷地入口の門扉を施錠し、一般の方が入らないよう安全に配慮していく。また、今後の利用計画については、現状のままでの利用を考えている。

問 現状過疎化が進行する鷺沼地区。仙南地域広域行政事務組合は、現在閉鎖している「大河原衛生センター」の利用を計

町長 大河原衛生センターは、仙南クリーンセンターの稼働により、現在閉鎖されている。今後の利用計画及び解体については、現在のところ計画はないとのことである。また、仮に解体を行う場

問 鷺沼地区、大河原衛生センターの周辺整備を

答 現状では考えていない



▲大河原衛生センターの今後の活用は

問 齋町長は公約として、白石川河川敷活用によるスポーツ施設の設定を掲げているが、考えているスポーツ施設は何か。

町長 現在、右岸河川敷の未整備区間及び既存の整備済み区間の一体的な土地利用について、様々な可能性を検討しているところである。

白石川河川敷活用スポーツ施設に パークゴルフ場を

問 パークゴルフ場設置を検討してはどうか。

町長 パークゴルフ場についても、選択肢のひとつと考えているが、まずは現況の確認及び河川管理者との協議を実施し、町民の皆様の要望を集約しながら整備内容を決定していきたい。

問 町職員の定数削減が進む中でも体制強化を

答 平成30年度を目標に組織体制整備を目指す

問 職員一人に対する業務負担が大きくなっている。その対応と、専門分野の臨時職員採用などの手段は。

町長 住民生活の多様化や県などからの権限移譲の関係で職員の負担は大きいと考える。柔軟な対応と働きやすい職場環境に努め、研修等で能力向上も必要と考える。

問 職員の年代別バランスと、職場体質の不变と普遍をどう感じるか。

町長 バランスがとれていない状況にあると考えている。今後継続して多

くの職員が定年を迎える事態が想定され組織力の維持や業績に心配はあるが、人材育成や能力向上を図る取組みにより、不変的マイナスとは考えていない。一人ひとりが、行政の果たす役割を理解している状況を普遍的と考えている。

問 氷見市役所を採り上げ、間仕切りを無くし、窓口業務の課間の協力で負担軽減と体制強化の検討を。

町長 平成27年度より組織体制や業務等について課題改善を目的に、現状確認と改善案を検討中。平成30年度を目標に新たな組織体制整備を目指す。

問 「さくらつきー」は今なお大河原町を発信するのに絶大な効果がある



一般質問



▲役場組織の体制強化を

と考える。「顔出し看板」を「ご当地ナンバー」を改めて検討してほしい。

町長 観光PR用看板等の製作費を計上している中で、他の案と比較したい。ご当地ナンバーについては残数を見ながら検討したい。

問 高齢者が自宅から出るきっかけ、行政区内コ

コミュニケーションの必要性を考え、集会所利用を検討できないか。また、町は行政区に理解してもらう取り組みを考えるか。

町長 居場所作りについては既に実現していると考えている。支援ニーズ把握や地域資源の発掘、地縁組織との連携を行っていく。把握に努め情報提供を行う。

東北観光復興対策交付金 29,784千円

柴田町と連携した白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業
他 同意1件、諮問1件、報告1件、議案25件 原案通り可決

3月会議

▼東北観光復興対策交付金

柴田町と連携した白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業を平成28年・29年・30年度の3カ年で実施予定。これは訪日外国人（インバウンド）の増加につなげていくための補助金。

○事業費

平成28年度

887万5千円

国交付金 710万円

町負担 177万5千円

平成29年度

3723万円

国交付金

2978万4千円

町負担 744万6千円

○交付金割合

事業実施に要する経費80%。町負担分20%も震災復興特別交付金で措置される。

○主な補助金の使い道

- 桜まつり実態調査
- インバウンドセミナーの開催
- 観光ボランティアガイドの養成
- 多言語表記によるパンフレット作成
- 夜桜ライトアップ事業他



▲交付金を活用し外国人観光客の増加を

▼副町長の選任

藤田 秀明氏

平成28年11月より空席になっていた副町長に、藤田秀明氏を全会一致で決定。藤田氏は昭和53年4月に大河原町に奉職し、今年3月まで総務課長と

して活躍され、知識・経験とも豊富である。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

高橋 清美氏
平成29年3月31日に任期満了となる人権擁護委員に、新たに高橋清美氏を推薦することについて、賛成多数で決定。

▼大河原町総合計画審議会条例の全部改正

町づくりの推進に関して総合的・計画的に調査・審議するための組織で、総合計画やその取り組み状況及び成果の検証を行う。委員は15人以内で学識経験者や公募による町民等から組織される。

▼職員の給与に関する条例等の一部改正

職員給与体制が現行の6級制から7級制へと改正されるもの。これにより、会計管理者や高度な知識・経験が必要とされ

る業務を処理する課長等の職員給与がアップすることになる。

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

福祉委員（民生委員）の報酬が年額7万5600円から7万9200円に引き上げられるもの。

1月会議

▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

介護休暇については以前よりあったものがより具体的に介護休暇や時間が明示されるもの。
●1日につき2時間を超えない範囲。
●1時間につき勤務時間1時間当たりの給与額を減額等。

▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正

主に字句の改正によるもの。

継続的な議会改革の推進へ

議会基本条例、委員会条例の一部改正を
全会一致で可決

大河原町議会基本

条例の一部改正

基本条例は、町民の付託に応え、町民福祉の向上と町政の発展を決意し、大河原町議会の最高規範として、平成25年12月に制定したものである。

施行から3年が経過し「改めて条例と向き合ってみる必要があるのではないか。」という事から、昨年6月議会運営委員会のメンバーを中心に「議会改革推進会議」を立ち上げ、検討を進めてきた。主な改正内容は、条例の見直し規定として「2年毎に議会運営委員会が検証をし、必要であれば適切な措置を講ずる」とし定期的な検証を行い議会活動に反映していくこととした。

また、新たに「議員定数」「議員報酬」「議会の危機管理」について、基本的な行動指針として、条例の中に織り込んだ。

大河原町議会委員会

条例の一部改正

本条例の改正については、基本条例に規定する議会広報及び議会報告会活動の充実を図るため、特別委員会であった「広報編集特別委員会」を常任委員会に変更し、町民との意見交換、情報交換を所管とする「広聴常任委員会」を新たに設置し、4つの常任委員会とした。議長を除く議員は2つの常任委員会に所属するものとし、併せてこれまでの「総務文教常任委員会」と「産業建設常任委員会」の所管を見直すとともに「総務産業常任委員会」、「文教厚生常任委員会」に名称を改めた。

施行は、改選後（平成29年5月1日）からとし、広報編集特別委員会の常任委員会化に伴い「大河原町議会広報の発行に関する条例」は附則により廃止することとした。

請願

学芸員を役場内に配置に関する請願書

請願者

佐藤屋プロジェクト

代表者 渡辺 常男

村田は蔵、七ヶ宿は街道、角田・丸森では城下町を町発展に繋げている。本町にも桜の他に、江戸時代以降の古文書や書画、人物では全国的にも知られる詩人佐藤佐太郎や尾形亀之助がいる。また建物では、大高山神社をはじめ、県内では類を見ない建築技術や吟味された材料で建てられた佐



▲国指定重要文化財に内定した「佐藤屋住宅」

意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎え、住民の代表機関である地方議会の役割と責任は格段に重くなっている。しかし、町村では議員への立候補者が減少し、無投票が増加するなど、住民の関心の低下や地方議員のなり手不足が問題となっている。地方議員の年金制度を拡充することで、議員を志す新たな人材の確保につながると考える。国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から地方議会議員の厚生年金制度加入へ

の法整備を早急に実現するよう要望する。

【提出先】衆参議長、内閣総理大臣・官房長官、財務・総務・厚労大臣

「高額療養費」後期高齢者の窓口負担」等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書

検査を断る、薬が無くなくても受診しないなど、経済的な理由で受診できない人が増えている。調査では、約半数の医療機関で治療の中断を経験している。社会保障制度審議会では高額医療の自己負担の引き上げ、後期高齢者自己負担の2割への引き上げなど更なる負担増が検討されている。患者への負担増は医療を遠ざけ、高齢者の生活基盤そのものを圧迫する。

政府と国に対し更なる患者負担増で受診抑制を招かないよう慎重審議と現行制度の継続を求める。【提出先】内閣総理大臣、財務・厚労・総務大臣

委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会

①「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の制度見直しについて

制度見直しの内容について調査した結果、高齢化で医療費は年々増加しているが、年金生活者が年々増えていること、年金額が削減されていること、受診を控えざるをえない厳しい現実を勘案すれば、政府に対して現行制度の継続を求める意見書を提出することとした。

②「絵本のへや」のオーガニから町内3カ所への機能分散後の利用状況と今後の課題について

絵本コーナー4施設（①世代交流いきいきプラザ、②中央公民館、③金ヶ瀬公民館図書室、④駅前図書館）の内、①と③を現地調査した。

いきいきプラザについては、1日平均貸出人数や貸出冊数も増加しているとのこと。更なる絵本や児童書の充実に努めていただきたい。また、金



▲子どもによりよい環境となるよう更なる改善を

産業建設常任委員会

①白石川堤二目千本桜ブランド化事業の進捗状況について

柴田町との連携により平成28年度東北観光復興対策交付金が採択された。主にインバウンド誘致のための補助金である。

●今後、柴田町との連携を更に強化するとともに、大河原町への観光客を増やしていく努力も必要である。

●今後、観光ボランティアの通訳は、英語だけではなく、アジアの観光客のために大河原町に在住している方の協力を得て中国語等も必要である。

②大河原町の桜樹老木の現状と保護について

平成28年度一目千本桜枯枝等の処理及び桜樹保護事業として、平成28年12月までの支出額はおおよそ270万円。主な内容は下枝処理やアメリカシロヒトリ防除薬剤散布、大規模枝折処理である。

●手入れの必要な木が非常に多く、今後そのための費用も多くなることが見込まれることから、保存と手入れの仕方について全体のスケジュール（年次計画）を立てる等、協議する必要があるのではないか。

●商工観光課と観光物産協会の役割分担をより明確にするとともに桜樹保護に努めてほしい。

●専門家による診断を行うとともに、定期的なパトロールを行う必要がある。また、民家や電柱にまで伸びている枝の処理も必要である。



▲手入れが必要な木が多く、計画的な対策が必要

《平成28年第4回定例会(1月会議)／平成29年第1回定例会(3月会議・4月会議) 議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧												
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枅 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 孝子	山崎 剛
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	1/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	1/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算(第5号)	1/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副町長の選任	3/9	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	投
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	3/9	適任	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	投
大河原町総合計画審議会条例の全部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
職員の給与に関する条例等の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
大河原町個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
大河原町道路占用料条例の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
大河原町公共物管理条例の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
大河原町都市公園条例の一部改正	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
町道路線の認定及び廃止	3/9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成28年度一般会計補正予算(第6号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成28年度仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第2号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成28年度地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成29年度一般会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度介護保険特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度仙南夜間初期急患センター事業特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度地方卸売市場事業特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度工業用地造成事業特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度公共下水道事業特別会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度水道事業会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度一般会計補正予算(第1号)	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大河原町議会基本条例の一部改正	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大河原町議会委員会条例の一部改正	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書案	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学芸員を役場内に配置に関する請願書	3/16	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地の処分(金ヶ瀬字川根106番地3ほか計47筆)	4/6	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席、除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

在職議員表彰

秋山 昇 議長
万波 孝子 議員
山崎 剛 副議長
佐藤 貴久 議員
枅 和也 議員

在職11年表彰
在職27年表彰

全国町村議会議長会より、秋山昇議長、万波孝子議員が在職27年の特別表彰を受けました。また、仙南地方町村議会議長会より、山崎剛副議長、佐藤貴久議員、枅和也議員が自治功労者(在職11年)として表彰を受けました。



こんな町に住みたいな



南小学校
横山 明充



南小学校
小野寺美緒

ぼくが住みたい町は、「笑顔があふれる町」です。笑顔は、誰かと仲良くなるときや、楽しい時間を過ごすときに欠かせないものだと思いませんか。ぼくは、笑顔は幸せな気持ちになれる魔法だと考えています。笑顔であいさつをすれば、相手も笑顔で返してくれる、笑顔で話をすれば、周りの空気も和み、会話も弾みます。このように、人と人の距離を縮め、温かい気持ちになれる。大河原に住む人や訪れた人が幸せな気持ちになれるような「笑顔があふれる町」に住みたいです。

私が住みたい町は「自然がたくさんある町」です。理由は、町全体に木や花など、自然があふれると気持ちよくなるからです。世界では、建物ばかりができて、自然がなくなっているところもあります。見ました。それを見て、この大河原には、もつと自然が増えるとういと思いました。

南小では、昨年度植樹をしました。その木に、鳥や虫が寄ってくるのを見て、うれしくなりました。もつと木や花がふえ、人も生き物も気持ちよく暮らせる町になってほしいと思います。

6月議会のお知らせ

招集日 6月7日(水)・再開日 6月13日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800



議員研修会開催

1月30日、役場大会議室において大河原町議会議員研修会が開催されました。テーマは「大雨による宮城県への災害」ということで、講師に仙台管区気象台の小池二郎氏をお招きし、近隣の議員有志、職員等多くの参加を頂きました。研修では宮城の気象についての事例紹介や昨年の台風10号上陸時の気象解析などがあり、身近な住民の命を守るため、今後大変ためになる有意義な研修でした。

街かどワンショット



古峰神社(新田町生活センター同敷地)西桜3号公園は桜の木が植樹されており、盆踊りやどんと祭も行われ、また同敷地にある新田町生活センターは、区行事で利用され1年を通して親しまれている。その一角に1980年8月10日に都市計画街路本町大通り造成のため移転された神社(通称「やまこ」こぼはらさん)がある。奥州街道の宿場、大河原町の入口に鎮座し、街道を旅する人々の安泰と町の推移を見守ってきた。

編集後記

任期最後の編集となりました。この4年間読みやすい紙面づくりに、そして生活する大河原町をより知っていただけるよう努めてきました。仙南の中心地で官公庁の出先があり、多くの幹線道路が交差する町。白石川兩岸に並ぶ一目千本桜を目当てに多くの観光客がいらつしやいました。私たちの生活では当たり前に気づいていない、多くを魅了する発見がまだまだ眠っているような気がします。町政、議会ともに誇りある大河原町のために前進します。(佐久間克明)

編集発行責任者

議長 秋山 昇

議会広報編集特別委員

委員長 岡崎 隆

副委員長 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 柊 和也

丸山 勝利

佐久間克明